

「やりたいことは、やらなければならないことの向こう側にある」

通学路の危険個所と特定された場所で、安全に横断歩道を渡らせるための交通専従員さんがいます。これまで10年以上同じ方々に従事してもらっていましたが、事情により続けられなくなりました。また、土日祝日に学校施設を管理していただく臨時施設管理人さんも、ご家庭の事情で退職されることになりました。11月後半、この2つの仕事の人探しに大変苦慮しました。交通専従員についてはコミュニティ協議会を通じて、各自治会にお願いをしましたが見つかりませんでした。臨時施設管理人については、教育委員会に登録されている方々の名簿をもらって10人以上の方に電話連絡しましたが、すべて断られました。たった3人の方を探すのにこれだけ苦勞するのかと、この国の人手不足を間近で実感することになりました。交通専従員は、PTA生指の方々のお世話になり、以前従事されていた方と1名の保護者に引き受けていただくことになりました。臨時施設管理人は、教育委員会に履歴書を提出していただけて、何の仕事に就くのかも聞かされていなかった未経験の方に、急きよの連絡で来校してもらい、その日のうちに仕事を覚えてもらって引き受けていただきました。

これを聴くと、子ども達が将来、職にあぶれる心配はないと考えてしまいますが、そうでもないようです。今ある仕事は、AI・ロボットの発達により10年後には半分なくなってしまうと言われていたり、もうすでに始まっていることですが、今後は外国の方々の労働力をさらに頼っていく計画もあります。

そんなことを調べていて思い出したのが、ブラジル出身の教え子のことです。これも例の学校の話です。両親ともに、ポルトガル語しか話せず、日本語での会話がスムーズなのは本人だけでした。担任していた生徒すべてに、学校にいる3年間「しんどいことやれ、つらいことやれ」と指導をしていました。その言葉を日本人の生徒たちより真剣に受け止めた彼は、学校で一番厳しい武道部に入っ、3年生のときには主将を任せられ段位も取得しました。また、しっかり勉強していたので、怠けている生徒たちよりはるかに高い資格も取得しました。そして、校内での希望者が殺到する優良企業への就職を、いち早く勝ち取りました。結局、何も頑張らずに3年間を過ごした生徒たちは、就職することができず、誰でも受け入れてくれていた専門学校に進学していきました。親は、中学校での失敗を教訓にしてくれなかった我が子のために、また入学金・授業料を払い続けることの延長戦となったのです。言うまでもなく延長戦を許されなかった者は、進学も就職もできないままの卒業となりました。

企業も厳しいビジネス社会で生き残るためには出身など関係なく、役に立つ人間、もしくは頑張ることのできる証明書(学歴、資格、部活などの活動歴)を持っている人間を採用するのは、当然だと納得したことを思い出しました。

何度も同じことを書いて申し訳ありませんが、これも小学生から続いている話なのだとご理解いただき、今の学校生活や長期の休業の間に、なすべきことをご指導ください。百マス計算で有名な陰山英男先生の言葉、「やりたいことは、やらなければならないことの向こう側にある」担任していた教え子に、何度も指導していた言葉です。明日から冬休みですが、この言葉通りの生活をご指導いただけるとありがたいです。



すすんで学ぶ
心豊かな子
たくましい子

中宮

令和3年12月24日
第628号
枚方市立中宮小学校
校長 池原 義人

明日から冬休み、「楽しくカー杯」過ごしましょう！

「いいところ見つけ」の修学旅行

6年生が12月16日(木)・17日(金)に広島～岡山～姫路方面への修学旅行に行きました。天候は初日から雨模様となりましたが、悪天候に負けずヒロシマ平和公園での平和学習に真剣に取り組んでいました。ホテルに着いて、夕食・お風呂・買い物を楽しみ、就寝もしっかり時間を守ることができました。2日目は岡山から姫路に移動し、セントラルパークでのグループ活動でしたが、この日も途中から雨が降り出し、ジェットコースターも運休してしまいました。残念ながら両日とも悪天候に見舞われる修学旅行となってしまいました。天候のことだから致し方ないと思いつつも、子ども達がかわいそうで申し訳ない気持ちになりました。

しかし、帰りのバスの中で子ども達から「楽しかった」「終わってしまうのが嫌や」「明日起きてもう1回ははじめから行きたい」など、こちらの心配を吹き飛ばしてくれるような言葉が相次ぎ、救われる想いでした。初めての宿泊学習を純粋に楽しんでくれた子どもらしさと、言葉は少々荒っぽいときもありますが日ごろから低学年の子ども達に優しく接している6年生が多いなど、いつも優しいこの学年に助けられたように感じました。

担任をしているとき、自分が幸せになるために「いいところ見つけ」の名人になりなさいと説明し、「いいところ見つけ」の活動を続けていました。友だちのよいところを見つけてカードに書いて伝える活動です。幸せになる理由とは、人の良いところを見つける名人になったら、周りは良い人ばかりになるよ、その逆に悪いところ見つけの名人になってしまうと、周りは嫌な人、気に入らない人だらけになり、不平や不満ばかり言っている不幸な人間になってしまうよと話していました。

悪天候に見舞われた6年生たち、きっと修学旅行の二日間で、たくさんの「いいところ見つけ」をしていたのだと思います。

帰校したときに、留守番の先生たちが「お」「か」「え」「り」のカードをライトで照らしながら、道にならんで迎えてくれるサプライズをしてくれました。寒いなか、たくさんの先生がいたことについて、あなたたちが優しい子たちだからこんな幸せなことが返ってくるんだよと伝えました。

雨の修学旅行、子ども達にとっても、引率した大人達にとっても、留守番していた教師たちにとっても、忘れられない思い出となりました。

